

アムス校友会通信

発行：アムス柔道整復師養成学院 校友会

Vol. 6
2012. 4

目次

平成24年度総会・交流会告知	1	OBインタビュー	3
イベント報告(秋の野外BBQ大会)	2	【新入役員のご挨拶】第1弾!	4
イベント報告(新年互礼会)	2		

ご挨拶

アムス校友会通信もおかげさまで6回目の発行を迎えることが出来ました。これまで広報誌の発行、色々なイベントへの参加をしてきましたが、どれもひとえに皆さんに支えられて出来ていることだと、この度出来上がった広報誌を見て、改めて感じています。

今後も校友会の活動にご協力を賜りますよう校友会役員を代表してお願い致します。

広報委員長 岡村 優輝

6月24日!!
平成24年度
総会開催!!



恒例交流会!!
在校生 無料!!

※卒業生は1,000円

先輩たちや
同級生と一緒に
おいしい料理、お酒を
楽しみましょう!!



イベント報告

秋の野外BBQ大会●平成23年11月23日（水・祝）淀川河川敷にて

昨年11月23日に淀川区南方の淀川河川敷にて会員の親睦を深めるためのBBQが行われました。天気は生憎の雨模様で開催が危ぶまれましたが高架の下を雨よけにして決行しました。如何せん高架下ということで、時々電車の通過音はするものの、そんなことが気にならないくらい数多くの方に参加していただき、参加者同士の会話が盛り上りました。



お肉はかなりの量を用意しましたが、あまりの人気に途中追加しないといけないほど皆しっかりと食べていました。カボチャのホイル焼きはホクホクで寒い中で一段と美味しく、鳥の手羽先もカリッとして大人気でした。最後の締めは、定番ですが焼きそば！今回は通常のソースと醤油で味付けした二種類を作りました。時間はあつという間に過ぎ、最後は会長が今後も頑張ろうと呼びかけ、改めて気持ちを一つにして終了です。



色々な学年の違う先生方と話もでき、とても有意義な時間でした。参加していただいた方々ありがとうございました。次回は今回参加できなかった方もぜひ参加お待ちしています。

[広報委員 8期 三井慎也]

特別講演会・新年互礼会●平成24年1月15日（日）学院・シティプラザ大阪にて

この日はまず我らが校友会山脇功治会長の「捻挫について」、続いて昨年まで学院非常勤講師として多くの学生がお世話になった今津病院院長 濱本喜啓先生による「膝について」という豪華二本立ての特別講演会から幕を開けました。



山脇功治会長に講演頂いた「捻挫について」ですが、「捻挫」は、我々柔道整復師にとって最も身近な怪我でありながらも、その定義に未だ明瞭な線引きがつけにくい怪我の一つだと思われます。一体何が捻挫という定義を生みだすのでしょうか？そんな、一見当たり前のように奥の深い「捻挫」をわかりやすく、実演を交えながら講義をしていただきました。



濱本喜啓先生に講演頂いた「膝について」は、症例を挙げながら鑑別への道筋をつけていく、習ったことのある方なら何とも懐かしく嬉しくなるような講義でした。日常で遭遇し得る膝の痛みには、様々な原因・要因がある、そのことを再確認できた大変充実した講義でした。



二つの講義は合わせて3時間と長かったかもしれません。しかし、聞いていた私を含め、そこにいた50人以上の人々にはそう感じなかつたはずです。「もっと話が聞きたい」「あつとう間だった」そう思ったはずです。

普段、聞けない貴重な話を先生方ありがとうございました。

次に、この日メインの「新年互礼会」がありました。在校生の参加も近年まれにみる多さだったこともあり、総勢130名を超える参加者による盛況な会となりました。葉室代表理事・國分学院長から御挨拶を、応援団・久保総合会計事務所の久保所長から今後の柔整業界の行く末に対するアドバイスをそれぞれ頂きました。

私たちの周囲を見渡しても、学院の閉鎖、柔整業界の厳しさなどネガティブな要素が無いわけではありません。しかし、学院長と立ち話をさせていただいた時に「学院を卒業していった人たちが成功してくれていることが何より嬉しい」と仰られしていました。そして、あたりを見渡せば肩を寄せ合いながら話す在校生、久々に会った先生と何気ない会話をしているOBの先輩方等、そこにいる人たちの笑顔を写真に収めていると、「アムスに入ってよかった。この人々のつながりをいつまでも残して、ネガティブな状況も乗り越えていきたい」とシャッターを切りながら思いました。私たちが得ている人ととの繋がりこそ変わらないことでしょう。

[広報委員長 6期 岡村優輝]



OBインタビュー!

身近な先生をご紹介するこのコーナー。校友会1年目・2年目のフレッシュな先生方を中心に突撃インタビュー！！



**第9期
辻尾 雅史**

なぜ柔道整復師を目指されたのですか？

学生時代は陸上部に所属していて、競技や練習でケガや事故をした際に柔道整復師の先生に治療して頂いたのがきっかけです。正直、柔整師にこだわっていた訳ではありませんが、僕の周りの人達に何かを提供できる人になれたら、とこの道を選びました。

普段の臨床で何か気をつけておられますか？

受傷時の検査法です。ここで見落としがあるまま間違った治療を行い、後遺症を残してしまったら大変です。以前にヒヤリとした経験もあるので注意しています。

他に何かこだわりはありますか？

来院された患者様には絶対に笑顔で帰ってもらう！ということです。気持ちの面でも負担はかけさせたくないで努力しています。



**第10期
松野 圭将**

なぜ柔道整復師を目指されたのですか？

フィットネスクラブに勤めていたころ、トレーニングに対する知識は持っていたのですが、身体の障害に対する知識はなく、クラブの会員さんの中には股関節や肩関節に障害を持った人がいらっしゃって、その人たちに対して専門の分野で社会貢献ができればいいのではないかと思いました。また、自分自ら膝前十字靱帯と半月板の損傷をし、こういった事で悩んでいる人たちに少しでも自分がしっかり勉強して「役に立ちたい」という想いで柔道整復師を目指しました。

今後の目標

4月から分院長となり、午前中は保険施術で地域住民の方に対して治療を施し、午後からはパーソナルトレーニングにより身体のトレーニングや筋力アップによる予防医学をモットーとして活躍したいと思っています。



**第6期
岡村 優輝**

なぜ柔道整復師を目指されたのですか？

友人が怪我をして、今まで打ち込んでいたスポーツを辞めなければいけないと聞いた時に、同じことで悩んだり、怪我をして競技できないとあきらめている人たちに何かできなかいかと思った時に柔道整復師という仕事を出会いました。

今後の目標

昨年開業をしてようやく半年目になりました。開業して改めて、人を診るということへの難しさを感じ、また、治せた時の喜びを覚えました。今後は自分の経験・知識を増やし地域に貢献できる医療を全力で提供し続けたいです。

新入役員のご挨拶

第1弾!



第10期
飯沼 大地

なぜ校友会役員になったのですか？

在学中に校友会の先生方にいろいろサポートやアドバイスを受け、助けて頂いたので自分も在校生の方をサポートする事で恩返ししたかったので入らせて頂きました。

校友会でやりたい事はなんですか？

人間関係を広め人ととの架け橋になれるよう頑張りたいです。



第10期
岩本 志乃

なぜ校友会役員になったのですか？

校友会に入ったのは、学生時代から自分に積極性がなく、もっと自分から先輩方や在校生と交流を深めたく、興味があったので入りました。

校友会でやりたい事はなんですか？

校友会でやりたい事は、何かイベントを考えたり色々な行事に参加してやっていきたいです。アムスが閉校するにあたって、その後も活動を続けていけるようにしていきたいです。



第10期
松野 圭将

なぜ校友会役員になったのですか？ 卒業を期に仕事が忙しくなり、それに伴いアムスの方々との交流が薄くなってしまうのでは、と感じた為です。自分はまだまだ未熟でありますので、OBの先生方や皆さんと繋がる事により臨床や経営等々の見識を広げ、自分を高めたいと思います。

校友会でやりたい事はなんですか？ 整骨院で働いていらっしゃる先生方は、自分も含めて人間関係的に多少閉鎖的な環境におかれてる人も多いと思います。苦しい時があっても、少なくとも僕たちはアムスという絆で繋がっています。その事を沢山の人に知ってもらえたならと思います。あとは飲みの席をしっかり楽しむことですね（笑）



第10期
山崎 剛

なぜ校友会役員になったのですか？

校友会担当の豊田さんに誘っていただいたのが最初で、自分にもやれる事があればと思い入させていただきました。

校友会でやりたい事はなんですか？

やりたい事なのですがまだはっきりとしたものはありません。やりながら見つけていけたらなと思います。